

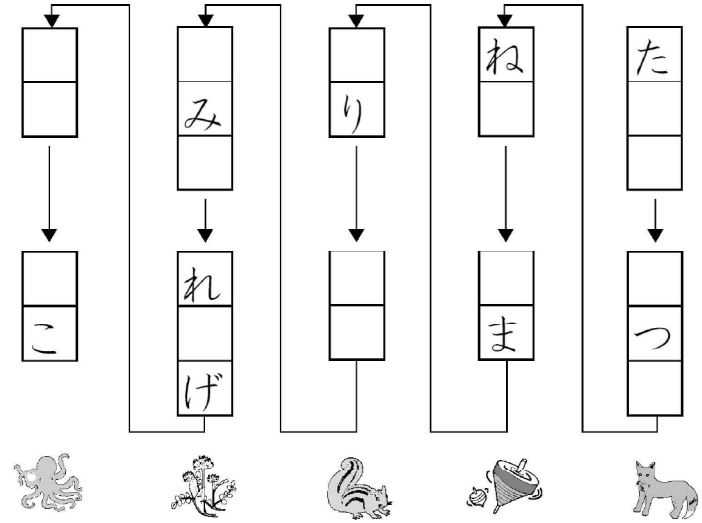
全部終わったら小1へ！

年中・年長児のための総合知能開発ワーク

# 「ぐんぐん」

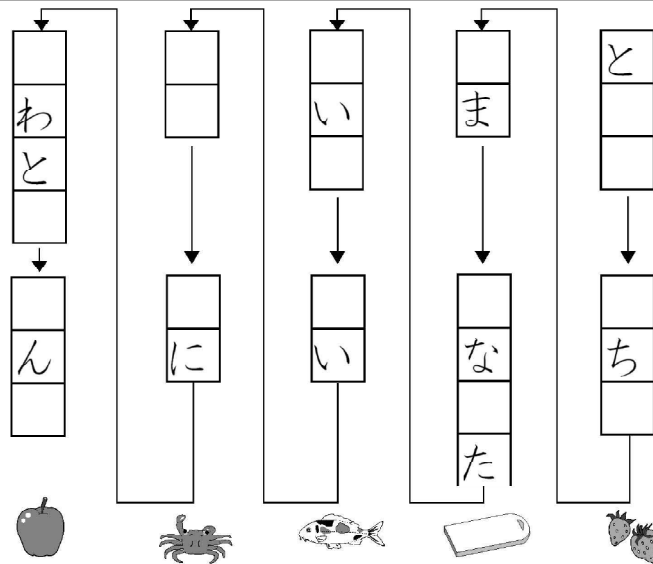
12号

しりとりになるように、□に もじを かきましょう。



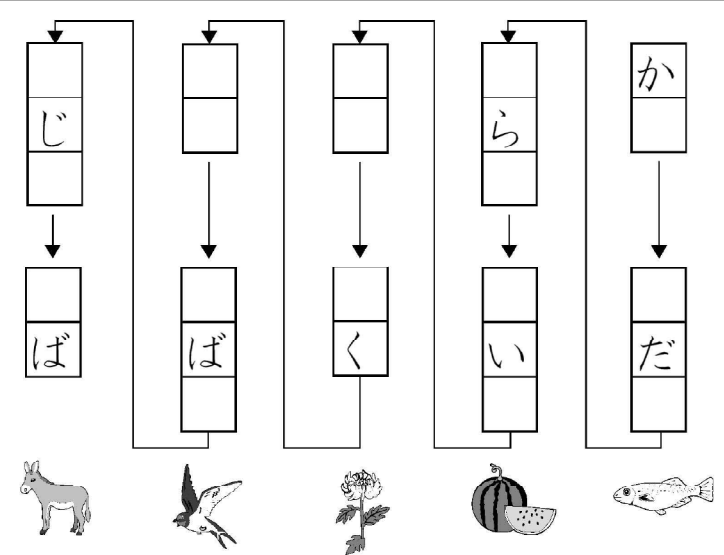
<h><h 12-1 なまえ ( )

しりとりになるように、□に もじを かきましょう。



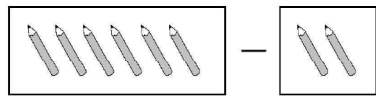
<h><h 12-2 なまえ ( )

しりとりになるように、□に もじを かきましょう。



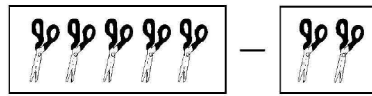
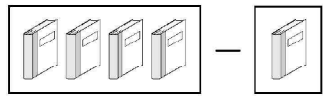
<h><h 12-3 なまえ ( )

ひだりから みぎを とると のこりは いくつでしょう。 すじを かきましよう。



.....

.....

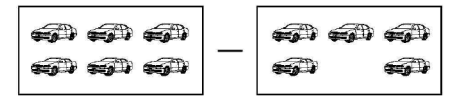
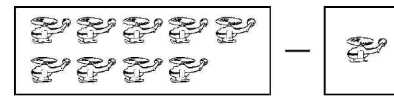


.....

.....

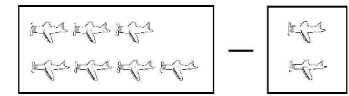
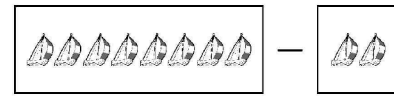
<h><h> 12-6 なまえ ( )

ひだりから みぎを とると のこりは いくつでしょう。 すじを かきましよう。



.....

.....

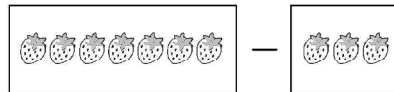
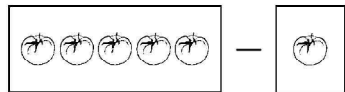


.....

.....

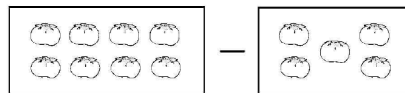
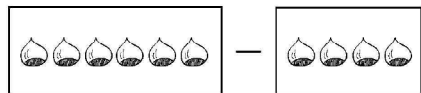
<h><h> 12-5 なまえ ( )

ひだりから みぎを とると のこりは いくつでしょう。 すじを かきましよう。



5 - 1 = 4  
ひく は

.....

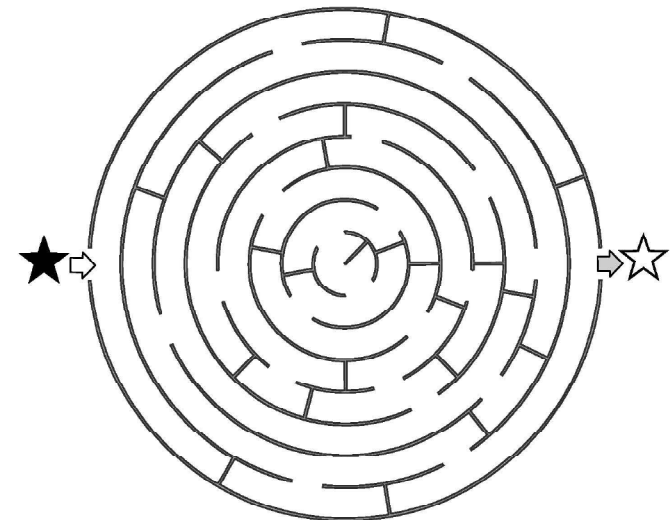


.....

.....

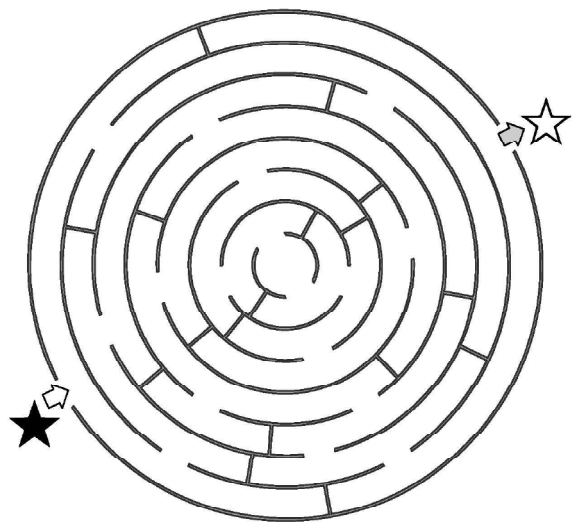
<h><h> 12-4 なまえ ( )

みちを まちがえないように、★から ☆まで せんを ひきましよう。



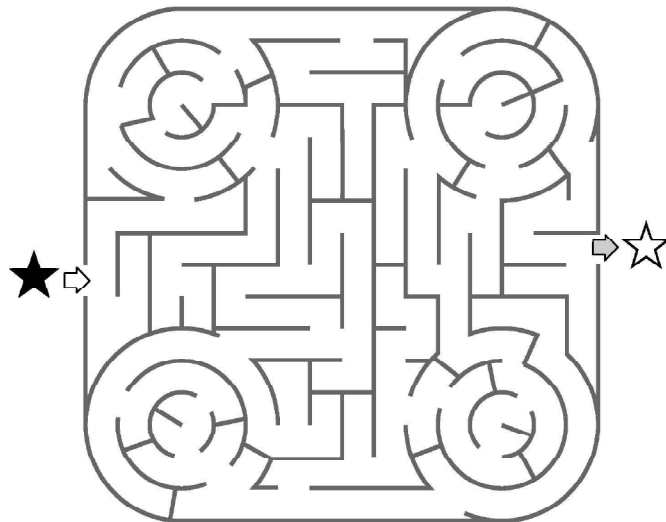
<h><h> 12-7 なまえ ( )

みちを まちがえないように、★から ☆まで せんを ひきましょう。



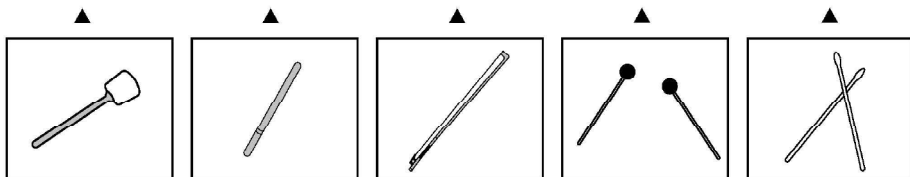
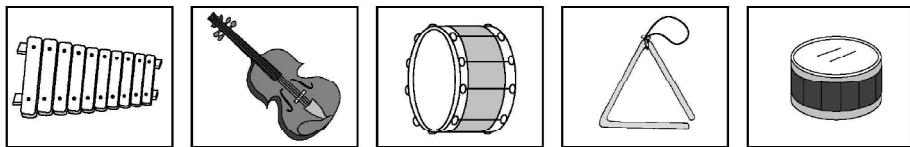
<h><h> 12-8 なまえ ( )

みちを まちがえないように、★から ☆まで せんを ひきましょう。



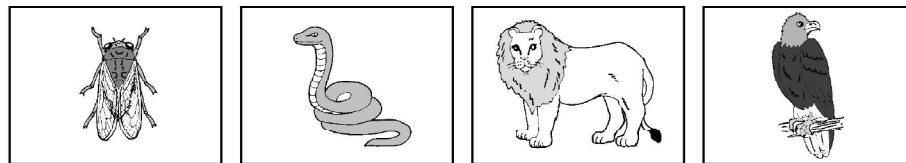
<h><h> 12-9 なまえ ( )

うえと あう ものを したから えらんで せんを ひきましょう。



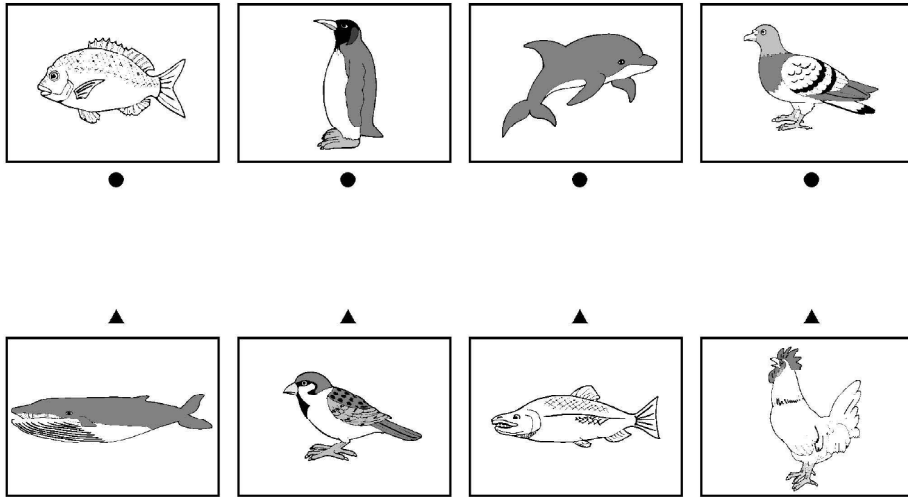
<h><h> 12-10 なまえ ( )

うえと あう ものを したから えらんで せんを ひきましょう。



<h><h> 12-11 なまえ ( )

うえと あう ものを したから えらんで せんを ひきましょう。



<h><h> 12-12 なまえ ( )

おしの なまえを みつけて、 なぞりましょう。(6つ)

と	ら	ぬ	た	あ	め	さ
ん	せ	み	め	り	ん	ご
ぼ	る	は	ち	い	ら	ま
た	り	な	か	ま	き	り
ん	て	ん	と	う	む	し

<h><h> 12-14 なまえ ( )

けもの の なまえを みつけて、 なぞりましょう。(6つ)

と	け	い	あ	し	た	た
め	い	す	さ	ま	ね	こ
が	と	ん	い	う	ず	ん
ね	た	ぬ	き	ま	み	か
ら	く	だ	は	な	み	く

<h><h> 12-13 なまえ ( )

はなの なまえを みつけて、 なぞりましょう。(6つ)

ま	き	く	ら	げ	れ	め
ひ	た	ま	ま	た	ん	あ
ま	あ	さ	が	お	げ	ぶ
わ	め	く	す	い	せ	ん
り	り	ら	あ	め	ん	こ

<h><h> 12-15 なまえ ( )

かずを わけましょう。 □の なかに すうじで かきましょう。

6

3 3

2 4

5 1

4

3 1

2 2

1 3

<h><h> 12-16 なまえ ( )

かずを わけましょう。 □の なかに すうじで かきましょう。

7

5 2

3 4

6 1

8

2 6

4 4

6 2

<h><h> 12-17 なまえ ( )

かずを わけましょう。 □の なかに すうじで かきましょう。

5

3 2

4 1

10

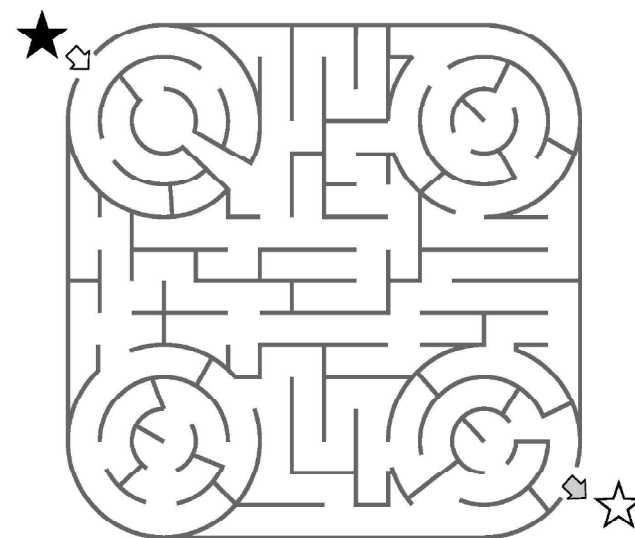
8 2

7 3

5 5

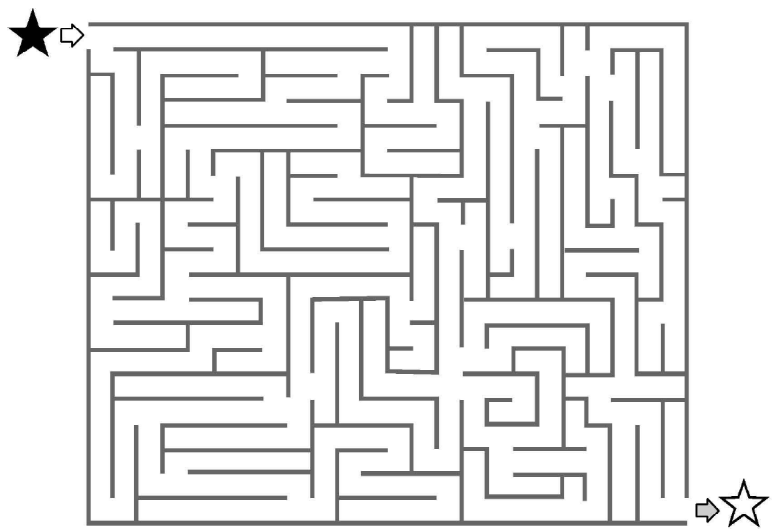
<h><h> 12-18 なまえ ( )

みちを まちがえないように、★から ☆まで せんを ひきましょう。



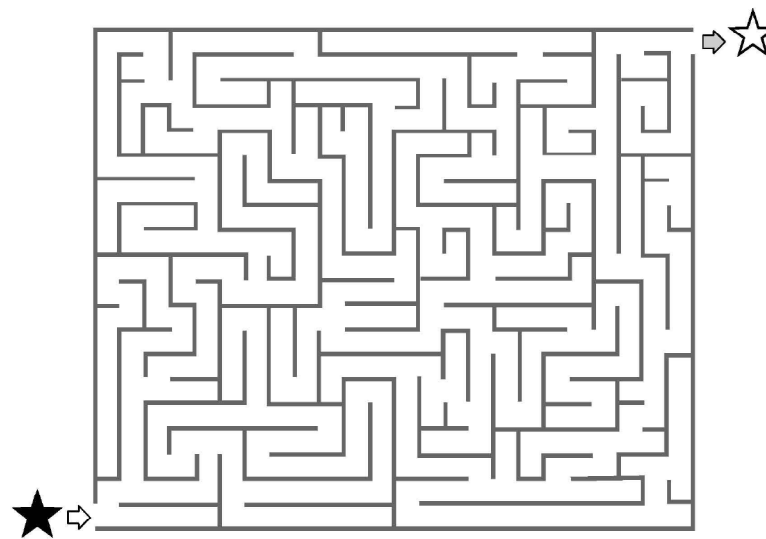
<h><h> 12-19 なまえ ( )

みちを まちがえないように、★から ☆まで せんを ひきましょう。



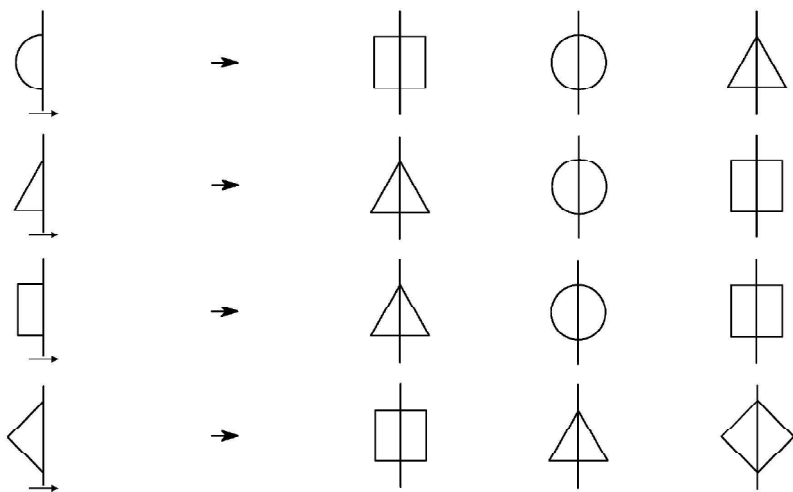
<h><h> 12-20 なまえ ( )

みちを まちがえないように、★から ☆まで せんを ひきましょう。



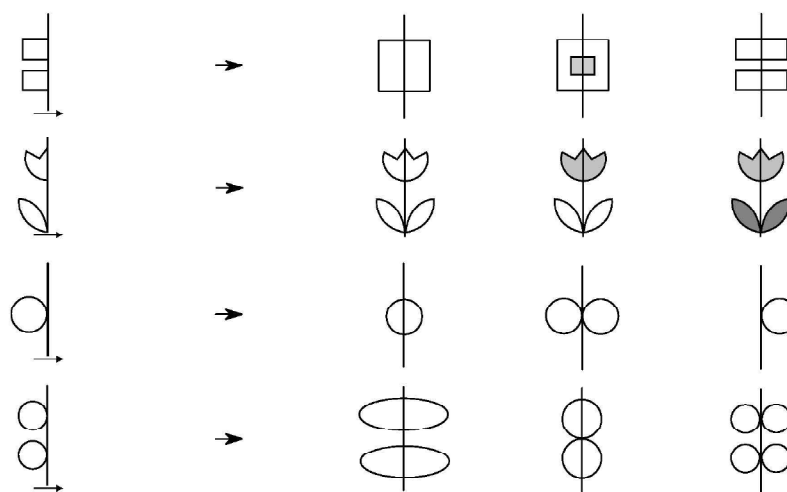
<h><h> 12-21 なまえ ( )

ぼうを もって やじるしの ほうに おりかえすと、どの かたちか できますか。○を つけましょう。



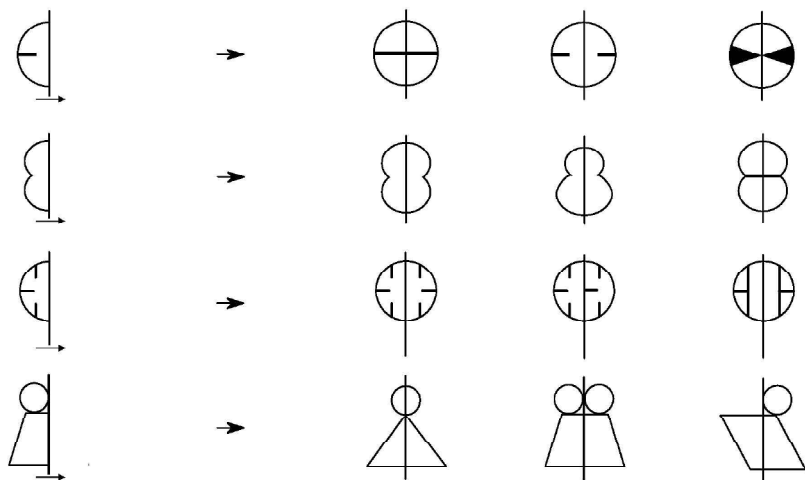
<h><h> 12-22 なまえ ( )

ぼうを もって やじるしの ほうに おりかえすと、どの かたちか できますか。○を つけましょう。



<h><h> 12-23 なまえ ( )

ほうをもって やじるしの ほうに おりかえすと、どの かたちが できますか。○を つけましょう。



<h><h> 12-24 なまえ ( )

とりの なまえを みつけて、 なぞりましょう。(6つ)

あ	た	は	と	ん	ぼ	た
に	ほ	ん	り	か	ら	し
き	つ	つ	き	ら	ん	か
の	ち	ば	り	す	ず	め
こ	の	め	じ	ろ	ん	る

<h><h> 12-25 なまえ ( )

たべものの なまえを 6つ みつけて、 なぞりましょう。

り	ぜ	ん	ざ	い	て	ら
か	ま	ぼ	こ	ち	ん	み
た	さ	ぱ	だ	く	ふ	そ
つ	か	り	ふ	わ	ら	し
む	つ	け	も	の	は	る

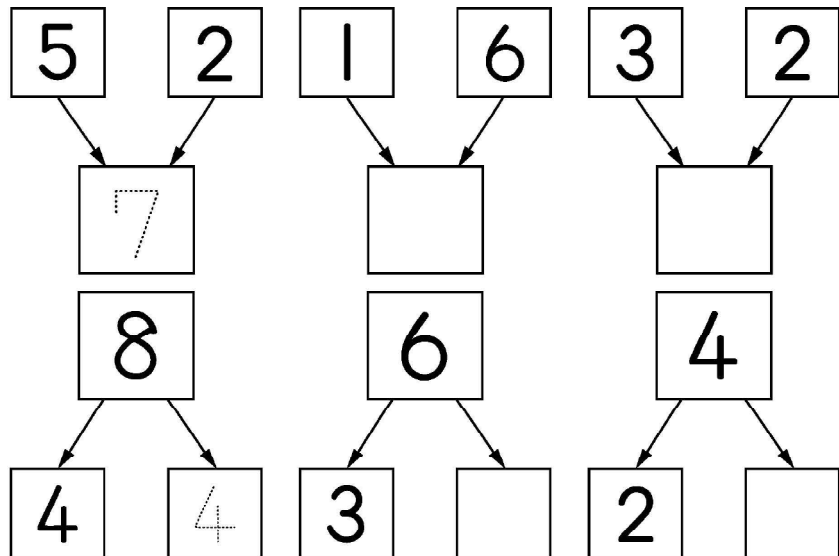
<h><h> 12-26 なまえ ( )

くだものと やさいの なまえを みつけて、 なぞりましょう。(7つ)

ト	マ	ト	バ	オ	パ	ビ
メ	ロ	ン	ナ	レ	モ	ン
ン	キ	リ	ナ	ン	カ	タ
ド	ウ	シ	カ	ジ	マ	リ
リ	イ	タ	レ	タ	ス	イ

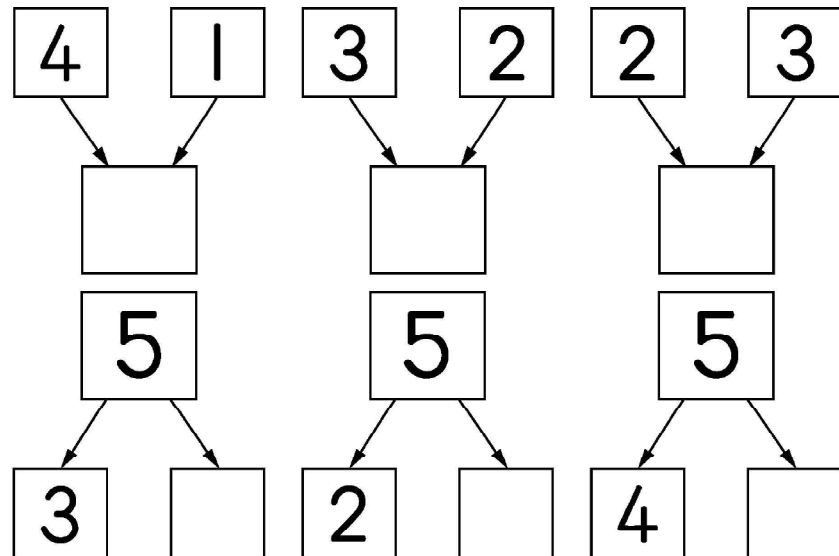
<h><h> 12-27 なまえ ( )

かずが あうように □に すうじを かきましょう。



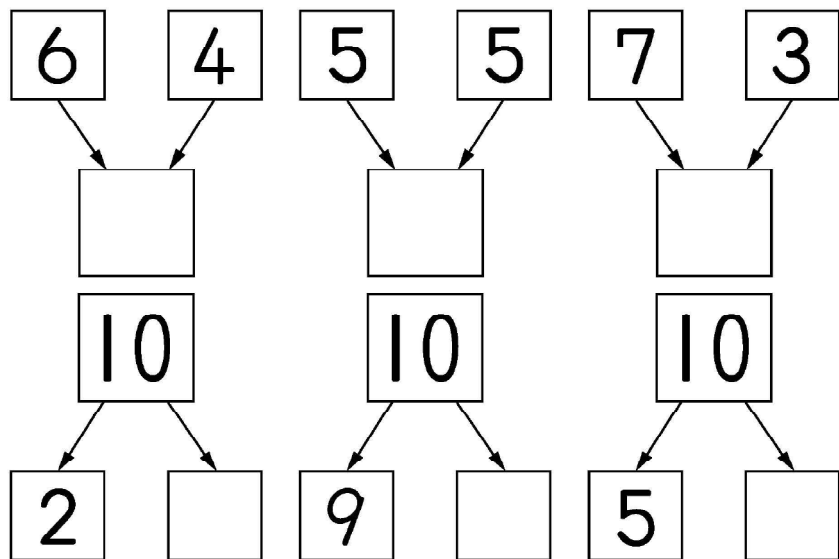
<h><h> 12-28 なまえ ( )

かずが あうように □に すうじを かきましょう。



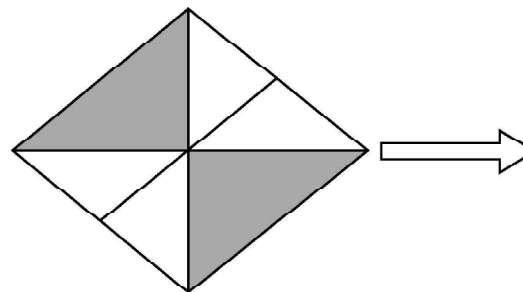
<h><h> 12-29 なまえ ( )

かずが あうように □に すうじを かきましょう。



<h><h> 12-30 なまえ ( )

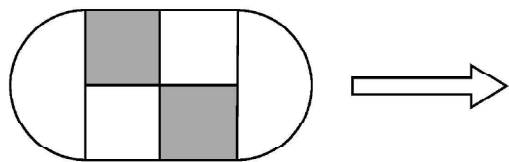
おてほんど おなじように かきましょう。



<h><h> 12-31 なまえ ( )



おてほんど おなじように かきましょう。



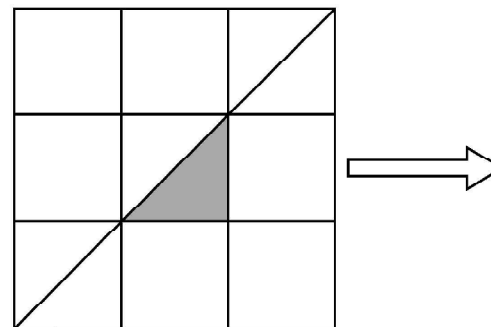
<h><h> 12-32 なまえ ( )

①が ②になると、③は どうなるか、④にかきましょう。

①	→	②	③	→	④
	→			→	
	→			→	
	→			→	

<h><h> 12-34 なまえ ( )

おてほんど おなじように かきましょう。



<h><h> 12-33 なまえ ( )

①が ②になると、③は どうなるか、④にかきましょう。

①	→	②	③	→	④
	→			→	
	→			→	
	→			→	

<h><h> 12-35 なまえ ( )

①が②になると、③はどうなるか、④にかきましょう。

①	→	②	③	→	④
	→			→	
	→			→	
	→			→	

<h<h 12-36 なまえ ( )

うえの ひらがなを つかって、□に さかなの なまえを かきましょう。

た ら め さ  
ひ い ふ ぐ

□ □ □ □ □

<h<h 12-37 なまえ ( )

うえの ひらがなを 2つ つかって、□に どうぶつの なまえを かきましょう。

う ま か  
ぞ し め

□ □ □ □ □

<h<h 12-38 なまえ ( )

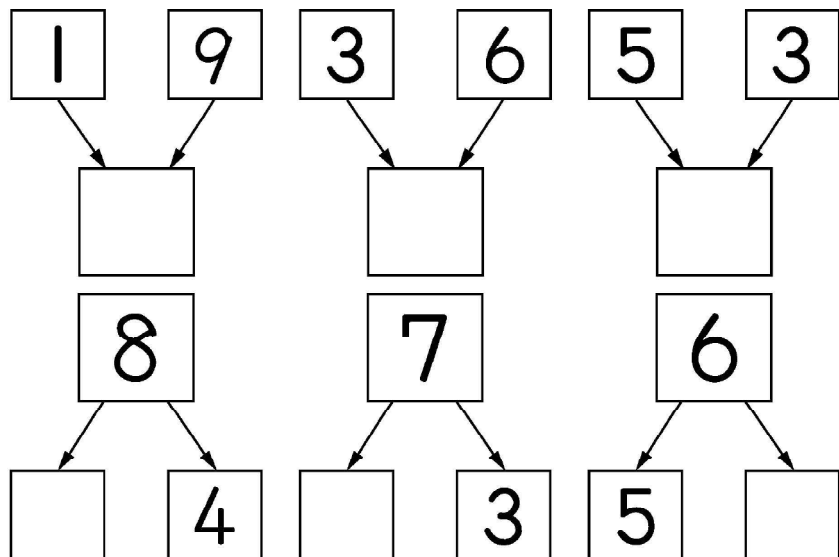
うえの ひらがなを つかって、□に やさいの なまえを かきましょう。

だ じ ほ す ん そ  
れ に な い う こ

□ □ □ □ □

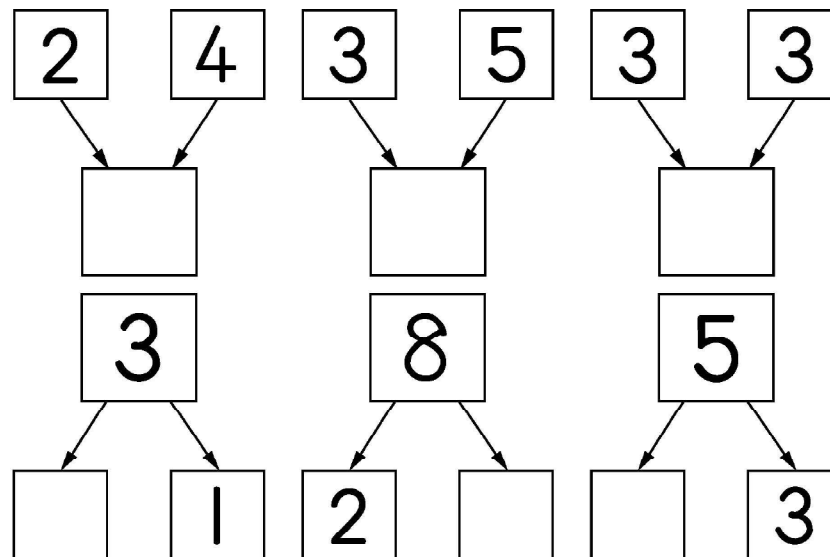
<h<h 12-39 なまえ ( )

かずが あうように □に すうじを かきましょう。



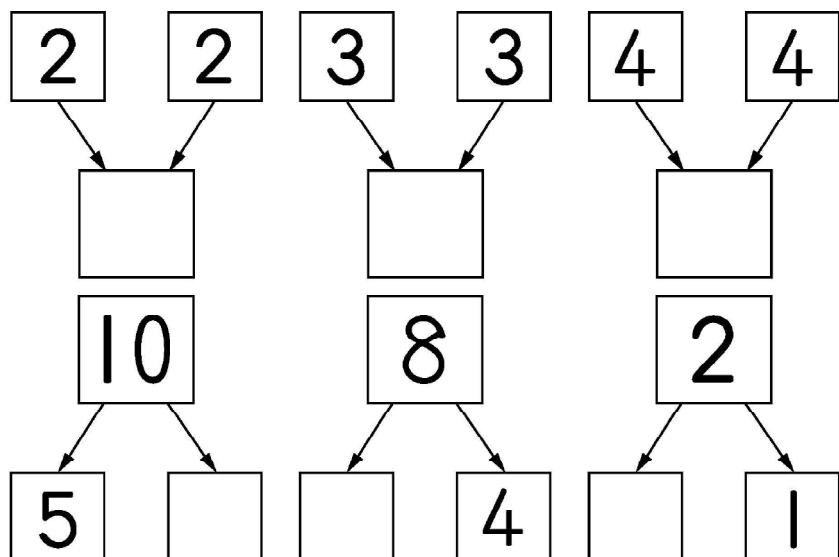
<h><h> 12-40 なまえ ( )

かずが あうように □に すうじを かきましょう。



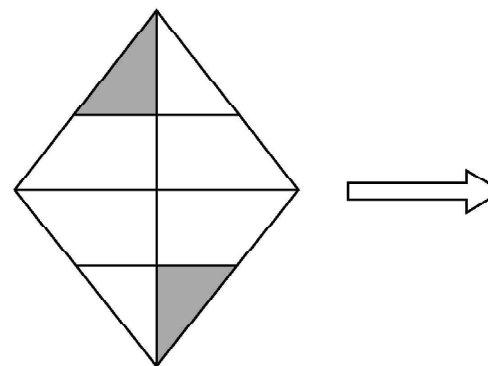
<h><h> 12-41 なまえ ( )

かずが あうように □に すうじを かきましょう。



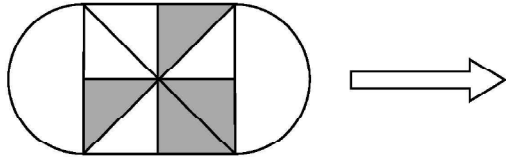
<h><h> 12-42 なまえ ( )

おてほんど おなじように かきましょう。



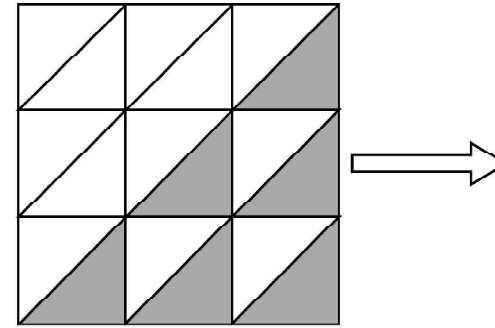
<h><h> 12-43 なまえ ( )

おてほんど おなじように かきましよう。



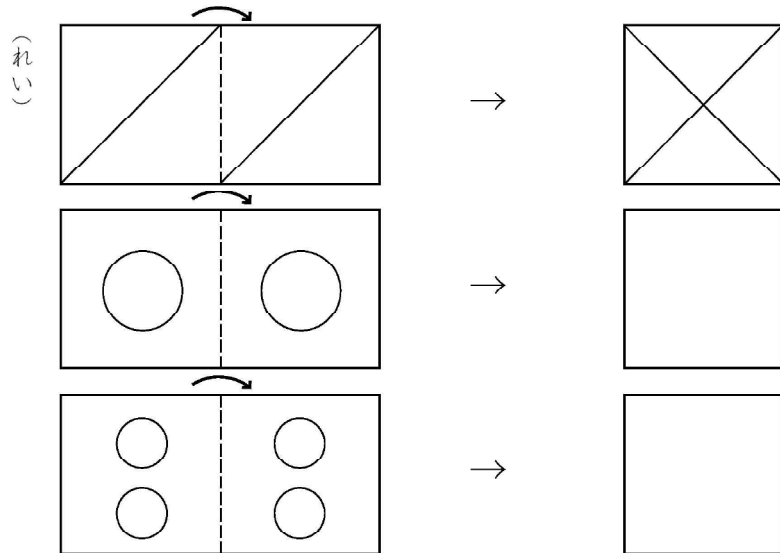
<h><h> 12-44 なまえ ( )

おてほんど おなじように かきましよう。



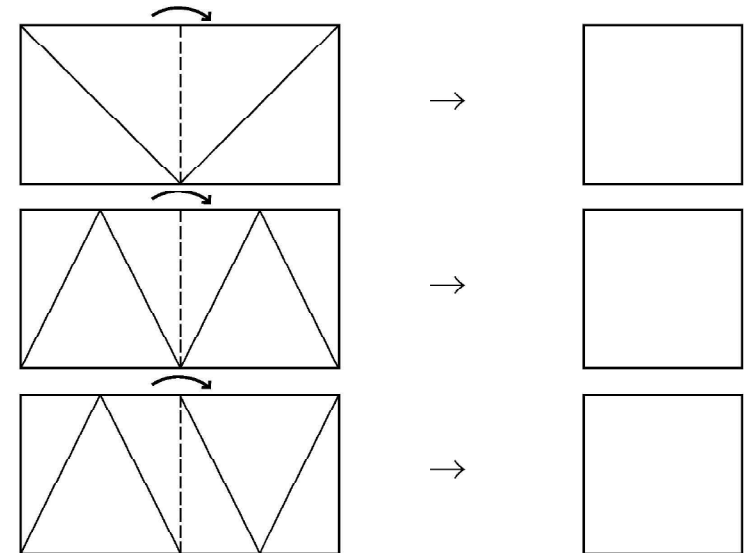
<h><h> 12-45 なまえ ( )

とうめいの かみを てんせんで おって かさねると どうなるか、みぎに かきましよう。



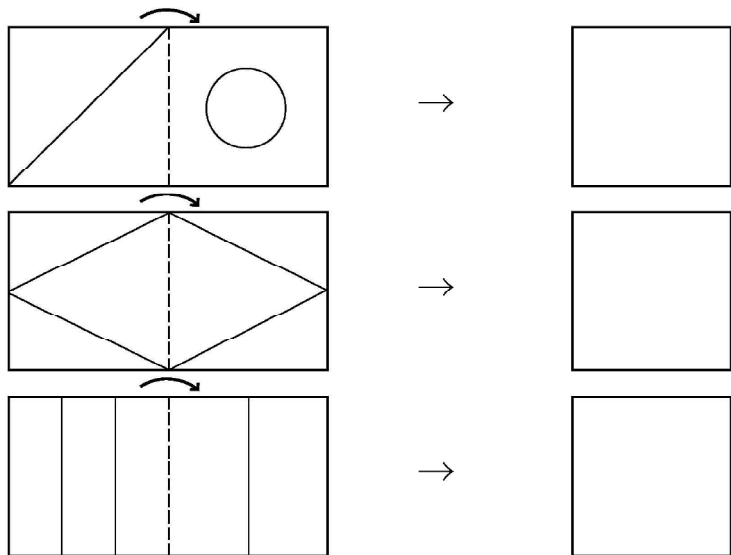
<h><h> 12-46 なまえ ( )

てんせんで おって かさねると どうなるか、みぎに かきましよう。



<h><h> 12-47 なまえ ( )

てんせんで おって かさねると どうなるか、みぎに かきましょう。



くんくん 12-48 なまえ ( )

## かず・りょう／ひき算

### ●ひき算の式をかく

ひき算の式にも、少しずつ慣れていきましょう。残りはいくつかを考える時には、「-」や「=」という記号を使ってひき算の「式」をかくことを教えてあげてください。プリントの絵の数を数えながら、指導者が「5ひく1は」というように声をかけてあげながら、ひき算の式を書かせるとういでしょう。答えは、左の絵に右の絵の数の分だけ／を入れて消し、残りの数を数えて出しましょう。

### ●ひき算の文章題を作ってみる

テキストの式を使うひき算の問題（文章題）をみんなで考えてみましょう。

例1・トマトが5個あります。1個食べたら、残りは何個ですか。

例2・くりひろいに行って、おにいさんは6個、ぼくは4個くりをひろいました。おにいさんはぼくより何個多く、くりをひろいましたか。

くんくん 12-4、12-5、12-6

## ことば／しりとり

### ●しりとりのルールを理解する

しりとりのルールを確認しておきましょう。ことばの終わりの音から始まることばを考えて、次々ことばを続けます。「ん」で終わることばは使えません。

テキストの問題では、まず右はしの下枠に絵を見ながら文字を書きましょう。それをもとに、一番はじめと、そのつぎを絵にあうようにしりとりをしながら考えましょう。一通り答えを書き終わったら、書いたことばを読んで、きちんとしりとりになっているか、確かめさせて下さい。

実際にみんなで、しりとりを何回もやってみましょう。しりとりは、楽しみながら語彙力をつけるのにとってもよいゲームです。

くんくん 12-1、12-2、12-3

## ずけい／迷路

### ●推理力と運筆力を養う「迷路」

迷路の問題は、先を見通す推理力とうまく線をひく運筆力の両方を養うのに役立ちます。たいていのお子さんは迷路を喜んでやりますから、興味をそがないよううまくアドバイスしながら、練習を続けましょう。

### ●「迷路」で道に線をひく時の注意

道の両側の太い線（壁）にぶつからないよう、できるだけ道のまん中に線をひきましょう。また、線がクネクネしないよう、まっすぐに線をひくようにしましょう。

道が分かれている所では、先をよくみてどちらに行けばうまく進めるか、よく考えましょう。行き止まった時は、途中までもどって、最後まで線をひきましょう。慣れてくると、先を見通す力がついて行き止まりにならない道を即座に判断することができるようになります。

### ●時間をはかって取り組ませる

迷路に慣れてきたら、正確に「すばやく」作業できるように練習しましょう。指導者は、「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。制限時間は、各ページとも2分間を目安にしてください。

くんくん 12-7、12-8、12-9

## ちしき／楽器、仲間さがし

### ●楽器と一緒に使うものをさがす（12－10）

絵本や図鑑などで、楽器の名前や、どのようにして音を出すか、音を出す時に使うものを確認しておきましょう。

音の出し方	楽器の種類
たたく	タンバリン、カステネット、たいこ、トライアングル、シンバル、もっさんなど
はじく	バイオリン、ギター、ハーブ、ことなど
ふく	フルート、トランペット、ハーモニカ、ホルンなど
鍵盤をたたく	ピアノ、オルガンなど

### ●仲間さがし（12－11、12－12）

答えあわせの時には、「せみとかぶと虫は、虫の仲間です」というように線で結んだものが何の仲間であるかをお子さんに説明させて下さい。

12－11 セミ・かぶと虫「虫」、へび・かめ「は虫類」、ライオン・ねこ「けもの」、わし・からす「鳥」

12－12 たい・さけ「魚」、ペンギン・にわとり「とべない鳥」、いるか・くじら「ほ乳類」、はと・すずめ「とべる鳥」

くんくん 12－10、12－11、12－12

## かず・りょう／ひき算

### ●教具を使ったひき算の練習

つまみやブロックなどを使って、ひき算を練習しましょう。つまみがいくつあるか数えてから左と右に分けて並べます。（ひく1の場合は、左側に1個おきます）左のつまみの数を数えて、右にはいくつあるか考えてみましょう。右のつまみの数を数えて答えあわせをします。いろいろな数（10以下）のものを2つに分けて、残りがいくつになるか数えてみましょう。

### ●数を2つに分けるひき算

まず、絵や○がいくつあるかを数えてから、右上の数の分だけ、その絵や○にノを入れて消しましょう。いくつ残っているか数えて、答えは□に数字で書きます。右はしの2問は、絵なしで考えてみましょう。わかりにくいようでしたら、自分で○を書いたり、指を使ったりしながら、残りの数を数えてみるとよいでしょう。答えあわせが終わった後で、プリントを見ながら、「8は6と？」「2」と口で答える練習もしておくといよいでしょう。

くんくん 12－16、12－17、12－18

## ことば／ことばさがし（けもの）（虫）（花）

### ●～の名前を見つけてなぞる

まず、縦を文字を順番に読んで、けもの、虫、花の名前をみつけましょう。意味のあることばでも、別の仲間の名前ではだめです。名前が見つかったら、ひらがなをていねいになぞりましょう。「**て**」のある字は、「**て**」も忘れずになぞりましょう。それから、今度は横の文字を順番に読んで、なぞります。一通り解答できたら、6つあるか自分で数を数えて確認させましょう。

### ●「○字」でできていることば

なぞったことばが、いくつのひらがなでできているか数えてみましょう。この他にも、「○字」のことばを集めてみるとよいでしょう。

例 「1字」のことば：「か」「て」「め」「え」「は」「き」

「2字」のことば：「とら」「くも」「ばら」

「3字」のことば：「きりん」「とんぼ」「さくら」

くんくん 12－13、12－14、12－15

## ずけい／迷路

### ●推理力と運筆力を養う「迷路」

迷路の問題は、先を見通す推理力とうまく線をひく運筆力の両方を養うのに役立ちます。たいていのお子さんは迷路を喜んでやりますから、興味をそがないよううまくアドバイスしながら、練習を続けましょう。

### ●「迷路」で道に線をひく時の注意

道の両側の太い線（壁）にぶつからないよう、できるだけ道のまん中に線をひきましょう。また、線がクネクネしないよう、まっすぐに線をひくようにしましょう。

道が分かれている所では、先をよくみてどちらに行けばうまく進めるか、よく考えましょう。行き止まった時は、途中までもどって、最後まで線をひきましょう。慣れてくると、先を見通す力がついて行き止まりにならない道を即座に判断することができるようになります。

### ●時間をはかって取り組ませる

迷路に慣れてきたら、正確に「すばやく」作業できるように練習しましょう。指導者は、「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。制限時間は、各ページとも3分間を目安にしてください。

くんくん 12－19、12－20、12－21

## ずけい／対称図形（折り紙）

### ●折り紙遊び

実際に色紙などで、2つ折りにした紙から問題と同じ形をお子さんに切りぬかせてみましょう。切った紙を折ったり広げたりして、できた形をよく観察させておきましょう。できた形は、左右対称であることに気づかせます。

### ●2枚重ねの紙を広げた形を「想像する」

プリントの問題では、いろいろな形の紙のはしに棒をつけたものを2枚重ねて置いてある（棒も2本ある）と考えさせて下さい。同じ形の紙を2枚重ねてあるものを、「ちょうつがい」のように棒を中心にして反対側へ折り返して広げると、どんな形になるか想像してみましょう。色紙を2つ折にして広げるのと同じで、左右対称の形ができます。

く<く< 12-22、12-23、12-24

## かず・りょう／たし算・ひき算

### ●2つの数をあわせるたし算

2つの数字を見て、あわせるといくつになるか、答えを出します。答えが10までのたし算は、ものを使ってくり返し練習して、できれば答えも覚えてしまうとよいでしょう。わかりにくいようでしたら、自分で、○をかいたり、指を使ったりしながら、あわせた数を数えさせて下さい。

### ●数を2つに分ける引き算

数だけを2つに分ける練習です。上のたし算が覚えられれば、その逆のひき算も簡単にできるようになります。わかりにくいようでしたら、自分で○をかいたり、指を使ったりしながら、残りの数を考えさせて下さい。

く<く< 12-28、12-29、12-30

## ことば／ことばさがし（鳥）（食べ物）（果物・野菜）

### ●～の名前を見つけてなぞる

まず、縦を文字を順番に読んで、鳥（食べ物、果物と野菜）の名前をみつけましょう。意味のあることばでも、別の仲間の名前ではだめです。名前が見つかったら、ひらがなをていねいになぞりましょう。「<sup>ろ</sup>」のある字は、「<sup>ろ</sup>」も忘れずになぞりましょう。それから、今度は横の文字を順番に読んで、なぞります。一通り解答できたら、6つ（12-27は7つ）あるか自分で数を数えて確認させましょう。

### ●「○字」でできていることば

なぞったことばが、いくつのひらがなでできているか数えてみましょう。この他にも、「○字」のことばを集めてみるとよいでしょう。

例 「4字」のことば：「きつつき」「みそしる」「たまねぎ」

「5字」のことば：「こうのとり」「ハンバーグ」「さつまいも」

く<く< 12-25、12-26、12-27

## ずけい／模写

### ●お手本を見ながら、同じように書く

左の形をよく見て、同じように書きましょう。どんな形を組みあわせているかを考えながら外側の形から書きはじめて、どこどこを結ばばよいかを確認しながら、線をひくとよいでしょう。そのあとで、色のついている部分を確認しながら、黒くぬっていきましょう。色をぬる時は、りんかくをなぞり、うすく全体に色をつけてから、時間があれば色をこくぬっていきます。

### ●時間をはかって取り組ませる

「模写」の問題に慣れてきたら、正確に「すばやく」作業できるように練習しましょう。指導者は、「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。制限時間は、各ページとも2分間を目安にして下さい。

く<く< 12-31、12-32、12-33

## ずけい／変化

### ●変化のルールを見つける

問題の意味がよくわかるように、はじめの1つは、おうちの方が答えを選んで説明してあげるとよいでしょう。①が②に変わる時のルールをしっかりと理解させましょう。

- 12-34 (上) 形が左半分だけになる  
(中) 形が小さくなって、2つになる  
(下) 右上と左下が黒くなる
- 12-35 (上) 形が黒くなる  
(中) 形が左半分だけになる  
(下) 形に印が加わる
- 12-36 (上) 上下が逆になる  
(中) 形が大きくなる  
(下) 黒い部分が左右逆になる

<ん<ん 12-34、12-35、12-36

## かず・りょう／たし算・ひき算

### ●2つの数をあわせるたし算

2つの数字を見て、あわせるといくつになるか、答えを出します。答えが10までのたし算は、ものを使ってくり返し練習して、できれば答えも覚えてしまうとよいでしょう。わかりにくいようでしたら、自分で、○をかいたり、指を使ったりしながら、あわせた数を考えさせて下さい。

### ●数を2つに分ける引き算

数だけを2つに分ける練習です。上のたし算が覚えられれば、その逆のひき算も簡単にできるようになります。わかりにくいようでしたら、自分で○をかいたり、指を使ったりしながら、残りの数を考えさせて下さい。

<ん<ん 12-40、12-41、12-42

## ことば／ことばづくり (魚) (動物) (やさい)

### ●ひらがなを組み合わせて、名前を作る

ひらがなを組みあわせて、(魚)(動物)(野菜)の名前を作りましょう。同じ字を何回使ってもかまいません。わかりにくいようでしたら、「ひらがなを2つとか3つ使って、ことばを作って読んでいってごらん。魚の名前がみつかります。」と説明してあげて下さい。

12-39では、文字数が多いので、「名前に『だ』の字のつく野菜って何かな？」と一文字ずつ聞き、お子さんが「だいこん」と答えたら、その名前がそこにある字だけでできるかどうかを考えてみるとよいでしょう。

ひらがなを組みあわせて、(魚)(動物)(野菜)の名前を作りましょう。同じ字を何回使ってもかまいません。わかりにくいようでしたら、「ひらがなを2つとか3つ使って、ことばを作って読んでいってごらん。魚の名前がみつかります。」と説明してあげて下さい。

<ん<ん 12-37、12-38、12-39

## ずけい／模写

### ●お手本を見ながら、同じように書く

左の形をよく見て、同じように書きましょう。どんな形を組みあわせているかを考えながら外側の形から書きはじめて、どこどこを結ばばよいかを確認しながら、線をひくとよいでしょう。そのあとで、色のついている部分を確認しながら、黒くぬっていきましょう。色をぬる時は、りんかくをなぞり、うすく全体に色をつけてから、時間があれば色をこくぬっていきます。

### ●時間をはかって取り組ませる

「模写」の問題に慣れてきたら、正確に「すばやく」作業できるように練習しましょう。指導者は、「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。制限時間は、各ページとも2分間を目安にして下さい。

<ん<ん 12-43、12-44、12-45



●透明の板を重ねてみる

まず指導者が、透明な下じきなどを何枚か用意して、実際に板を重ねて見せてあげてください。透明の板に簡単な絵をかいたり、○のシールをはったり、線を書き入れたりしたものを、2枚重ねるとどんな絵ができるか、繰り返し観察させて下さい。

最初は、そのまま一方の板をズラしてふつうに重ねてみます。それから、テキストの問題のように、中心で折るように重ねてみましょう。同じものでも重ね方によって、できる絵が違うことに気づかせます。

くんくん 12-46、12-47、12-48

---

# ぐんぐん 12号

---

企画・著作 松本敏史

(教育デザイン研究所)

大阪府南河内郡千早赤坂村小吹68-115

0721-70-2050

改訂版制作日 2015年11月20日

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。